

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●田口貫太騎手、原優介騎手がJRA通算100勝を達成

8月23日(土)の4回中京1日・第12レースではカミノソリアルが1着となり、同馬に騎乗した田口貫太騎手(栗東・大橋勇樹厩舎)は、現役89人目となるJRA通算100勝(1889戦目)を達成しました。また翌24日(日)の3回新潟2日・第5レースではコスモエルヴァルが1着となり、同馬に騎乗した原優介騎手(美浦・青木孝文厩舎)も、現役90人目となるJRA通算100勝(3116戦目)を達成しました。

●札幌で3名の騎手がJRA初勝利をあげる

8月23日(土)の2回札幌1日・第4レースではハイクオリティが1着となり、同馬に騎乗したフランシスコ・ゴンサルベス騎手(アルゼンチン)は、JRA初勝利(2戦目)をあげました。さらに第11レースとして行われた「2025ワールドオールスタージョッキーズ」第2戦ではパトリックハンサムが勝利し、トール・ハマーハンセン騎手(ドイツ)がJRA初勝利(2戦目)をマーク。翌24日(日)の2回札幌2日・第1レースではマーゴットサンズが1着となり、本田正重騎手(船橋・千葉県騎手会)もJRA初勝利(35戦目)をあげました。

●津村明秀騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

8月24日(日)の3回新潟2日・第3レースでマイネルアウルムに騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上41人目・現役24人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

●ワールドオールスタージョッキーズはWAS選抜が優勝

8月23日(土)と24日(日)の2回札幌1日・2日に、札幌競馬場で国際騎手招待競走「2025ワールドオールスタージョッキーズ」が開催されました。14名の騎手が計4レースで腕を競い、個人戦では、4着、1着、1着、10着だったT.ハマーハンセン騎手が73ポイントを獲得して優勝。チーム対抗戦は246ポイントのWAS選抜(外国騎手・地方競馬所属騎手チーム)が202ポイントのJRA選抜を抑えて初優勝を果たしました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ブリーダーズゴールドC(門別)でライオットガールが重賞4勝目

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月28日、門別、2,000万円)は、5番手から差を詰めた4番人気のライオットガール(岩田望来騎手、牝5歳、父シニスターミニスター)が、逃げ粘る2番人気の無敗馬ダブルハートボンドをゴール前で差し切りました。単勝1.4倍の圧倒的サポートを集めた昨年の覇者オーサムリザルトは3着、マンマリアーレは4着、3番人気のグランブリッジは7着に敗れています。

●9月2日の不来方賞にナルカミ、ルヴァンユニベールらが出走

不来方賞(JpnⅡ、3歳、9月2日、盛岡、2,000万円)は、4戦3勝のナルカミとレパードS2着ルヴァンユニベールが双壁、以下メイショウズイウン、ハグ、ロードラビリンスの順に有力視されます。

●クロジシジョーらが参戦、9月4日のサマーチャンピオン(佐賀)

サマーチャンピオン(JpnⅢ、9月4日、佐賀、1,400万円)は、トップハンデの59*を背負うクロジシジョーとエンペラーウケアの2頭に、3歳勢のヤマニンチェルキ(55.5*)とハッピーマン(55.5*)がどこまで迫れるかが焦点となり、エイシンワンド(54*)は初のダートが課題です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1トラヴァーズS～ソヴリンティが圧勝

現地8月23日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2,000万円)はJ.アルバラード騎手が手綱を取ったソヴリンティ(牡3歳、父イントゥミスターフ、W.モット厩舎)が5頭立ての最後方追走から3コーナー手前で動き出して直線半ばで先頭に立つと、そこから大きく差を広げて10馬身差で圧勝しました。2着にG1ハスケルS4着から臨んだブラケットバスター。勝ったソヴリンティはこれで5月のG1ケンタッキーダービー(ダート2,000万円)、6月のG1ベルモントS(ダート2,000万円)、7月のG2ジムダンディS(ダート1,800万円)に続く重賞4連勝です。

●G1パーソナルエンスンS～ソービードアンナが接戦を制す

上記G1トラヴァーズSの4レース前に同じサラトガ競馬場で行われたG1パーソナルエンスンS(4歳上牝、ダート1,800万円)はB.ヘルナンデスJr.騎手が騎乗したソービードアンナ(牝4歳、父ファストアナ、K.マクビー厩舎)が先行策から3コーナーで早くも先頭に立つと、G1オグデンフィッピスS優勝馬ドースベイダーとの競り合いをハナ差で制して優勝しました。勝ったソービードアンナは昨年、ブリーダーズCディスタフ(ダート1,800万円)やケンタッキーオークス(ダート1,800万円)を含む5つのG1を制して米年度代表馬に選出。今年は始動戦となった3月のG2アゼリS(ダート1,700万円)と4月のG1アップルブロッサムH(ダート1,700万円)を連勝後、5月のG1ラトロワンスSは7着と崩れましたが、続く6月の前走G2フルールドリスS(ダート1,800万円)を3馬身差で快勝して巻き返していました。